



～ Moves From Singapore 2006 ～

ユースによる

IMF/世界銀行グループ 年次総会 参加報告会 &
太平洋・東アジア地域 協働プロジェクト 説明会
報告書

日付：2006/12/04

文責：大野曜子

イベント概要

日時： 2006年11月21日火曜日 17:30～19:30

会場： 世界銀行東京事務所小会議室

主催： YDP Japan Network 事務局

協力： 世界銀行東京事務所

当日プログラム

17:30 - 17:35 オープニング

17:35 - 18:05 総会での YDPJN 事務局員の参加セッション報告

18:05 - 18:40 WDR2007 の概説

18:40 - 19:00 YDS (WDR をテーマとしたテレビ会議プロジェクト) の紹介

19:00 - 19:10 Y!MAD (性教育をテーマとした地域協働プロジェクト) の紹介

19:10 - 19:25 質疑応答

19:25 - 19:30 クロージング

司会： 山内一馬 (YDP Japan Network 事務局・国際担当
東京大学教養学部地域文化研究学科フランス分科4年)

スピーカー： 滝口怜奈 (総会参加者、YDP Japan Network 副事務局長
東京大学教養学部文科三類2年)
森本真輔 (YDP Japan Network 事務局長
東京大学教養学部総合社会科学科国際関係論分科3年)
大野曜子 (YDP Japan Network 事務局・国際担当
東京大学教養学部文科三類2年)

配布資料

- ・ 当日プログラム
- ・ 世界開発報告 (World Development Report) 2007 概要 (英語版、日本語版)
- ・ IMF/世界銀行グループ年次総会 参加報告書





- ・ WDR2007 説明用レジュメ
- ・ YDS 概要
- ・ Y!MAD 概要
- ・ アンケート

参加者

【加盟団体】AIC (Ashraya Initiative for Children): 2 名

JPF (ジャパンプラットフォーム学生ネットワーク): 1 名

【外部】3 名

【YDPJN 事務局】理事 1 名、事務局員 6 名

プログラム内容

オープニング：自己紹介、YDPJN と YDP Network の紹介

総会での YDPJN 事務局員の参加セッション報告 (担当：滝口)

- ・ 参加経緯：YDS からのながれ
- ・ 参加セッションの説明：総会(WDR)の刊行式、CSO 向けのセッション
- ・ YDS の今後についてのミーティングの内容
- ・ Y!MAD 立ち上げについてのミーティングの内容

WDR2007 の概説 (担当：森本)

YDS (WDR をテーマとしたテレビ会議プロジェクト) の紹介 (担当：大野)

- ・ YDS について
- ・ これまでのテレビ会議の説明
- ・ WDR をテーマとしたテレビ会議プロジェクトの説明 (今後の流れ、タイムライン)
- ・ 海外の動きの紹介 (シンガポールとパプアニューギニアの活動について)

Y!MAD (性教育をテーマとした地域協働プロジェクト) の紹介 (担当：大野)

- ・ Y!MAD の背景、使命、ビジョンの説明
- ・ 実施概要 (今後の流れ、タイムライン)

準備過程

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| 11 月 7 日 | 日時、場所 決定
広報開始 |
| 11 月 8 日 | 国際担当 MTG 内容、当日の流れについて |
| 11 月 15 日 | 国際担当 MTG 内容、当日の流れについて
配布資料作成〆切 |
| 11 月 18 日 | WDR2007 説明者決定 |
| 11 月 19 日 | 参加申し込み締め切り |
| 11 月 20 日 | 資料印刷 @世界銀行 |



11月21日 当日 16:30～ 準備

広報先

ydpjn@yahogroups.jp

NGO-terminal@yahogroups.jp

wb-students@yahogroups.jp

mixi の YDPJN コミュニティ、個人のページ

YDPJN ウェブサイト

ネットワーク部から声かけ

参加者の声・感想

- ・ YDP そのものに関してもう少し知りたい
- ・ 日本では、市民権行使に関して無関心な人が多い
 - いかに関心を上げるか、若者の提言をいかに政策決定レベルへ上げていけるか、どういう風に若者を意見を代弁してもらうかを自覚していくべき
- ・ 2006 に参加したら国内ネットワークを進めていこうという感じだったが今回は国際プロジェクトの話だった 国内と国際をどう進めていくのかが今後の課題だと思う
- 質問：YDS、Y!MAD について事務局はどういう風に関わっているのか
 - 国際担当がやっている、今後人集めが必要
 - 加盟団体の構成員であれば誰でも、というところまでリーチを伸ばしたい
- ・ JPF-s で新プロジェクト、実際に団体で活動している人たちとやっていきたい
 - YDP も関わってほしい
- ・ 地方との問題
- ・ 東京の団体だけでも交流できる場をもう少し多く設けてほしい
- ・ 今後自分にどういうことができる / どういう風に関わっていけると思うか？自分の団体でいっぱいな人が多い。もっと自団体の活動内容に絡めていたら参加できるかもしれない
- ・ AIC に入ったのも最近、世界が広がった
- ・ YDP は増幅装置 自分の団体でやりたいトピックを持ってきてくれたらその流れを作れるので YDPJN を活用する、という考えを持ってほしい

所感

今回のイベントでは事務局側からの説明だけではなく、参加者の方との意見を相互に交換できたことがよかった。しかし今後の課題として、より多くの参加者獲得のため広報の手段・内容ともに改善していくことや、加盟団体の交流の場をより多く持つことなどが挙げられる。また、今後の方針として国内ネットワークと国際ネットワークの関連性を考えていく必要がある。



今後の予定

- * YDS の次回 VC に向けた準備
 - ・ 12 月前半：他の国のユースと E-Discussion
 - ・ 12 月：WDR2007 の勉強会、そのための企画・広報
 - ・ 1 月以降：WDR2007 について 2 度の VC
- * Y!MAD のためのチームビルディング
 - ・ 性教育に関わる団体への声かけを開始

